

団体名 特定非営利活動法人
たすけ愛ふくろう清田

事業名

地域の非就労世代が、互いに支え合うユニバーサル支援展開事業



活動拠点

清田区とその隣接エリア

設立の経緯

地域の誰かの「困ったな」という声と「助けたい」という気持ちをつなぐために、地域で助け合える仕組みづくりが必要であると感じたことがきっかけで設立されました。



私たちはこのような活動をしている団体です

清田区を拠点に、多世代が支え合う地域づくりを行う団体です。高齢者による子どもへの学習支援や、学生によるスマホ教室など、非就労世代が互いの得意分野を活かして交流する場を提供しています。日常生活の支援や子ども食堂も運営し、小さなことに大きな愛を込めて活動しています。



スマホとか、ネットとか、デジタル社会についていげない。

「使い方がわからない」「スマホの操作が難しい」といって悩んでいる人いませんか？

「スマホの操作がわからない」「スマホの操作が難しい」といって悩んでいる人いませんか？

スマホ無料説明会に参加して

不安解消の第一歩を！

7月21日(水) 13:30-15:00 平岡地区会館

1. 説明会 2. 相談会

011-889-2960

高齢者・学生・子どもたちが「得意」を持ち寄る相互交流

高齢者・学生・子どもたちは「労働生産性が低い」などと、社会の中で軽視されがちです。これらの世代がそれぞれの得意な分野で他の世代の力となり、相互交流の機会を拡大する必要を感じてきました。高齢者が子どもや学生のメンターとして学業や生活のアドバイスをすることは、学生や子どもたちの成長の支援にもなります。本事業では「学生が高齢者に対しスマホの操作を教えるワークショップ」「学生たちが高齢者を家庭訪問し個別にサポート」「高齢者・学生による子どもたちへの学習支援」を行いました。学習支援では、単に勉強を教えるだけでなく人生経験や知識も共有することで、子どもたちにとって貴重な学びの機会となります。さらに各世代間で交流できるサロンや子ども食堂を開催し、昔あそび、工作、楽器演奏などの活動を通じて交流を深めました。

双方向の学びと交流が深める地域全体の絆と支援の輪

若い世代が高齢者にスマホの使い方を教え操作をお手伝いすることで、お互いの理解が深まり新たな交流が生まれました。高齢者がデジタルライフを踏み出すきっかけとなり、さらには生活の質の向上へとつながりつつあります。学習支援などでは、高齢者が子どもたちに対して人生経験や知識を共有することにより、子どもたちにとって貴重な学びの機会となりました。高齢者・学生・子どもという地域の非就労世代がお互いに支え合うネットワークを構築し、日常生活のサポートや情報共有を促進する必要をさらに痛感しています。本事業を通じて、このように誰かの「困ったな」と誰かの「助けたい気持ち」をつなぐ双方向の学びと交流が地域社会全体の絆を深め、世代を超えた支援の輪を広げることにつながると改めて確信しています。

NPO法人 たすけ愛 ふくろう清田

夏休み 子どもサロン

夏休み中、おじいちゃん、おばあちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、けん玉などの遊びや、折り紙、工作、ボードゲームなど、夏休みの思い出と一緒に楽しむことができます。1人でも来て大丈夫！夏休み中、ふくろう立ち回ってくださいます。

子どもサロン 開催日時

7/29(水) 30(木) 31(木)

8/7(木) 12(金) 21(木)

10:30～12:00 [午前]

会場 茗茶の里カフェさくら 札幌市清田区平岡7丁目15-15

参加費 子ども100円(飲み物、おやつ付)

お問合せ NPO法人 たすけ愛 ふくろう清田 889-2960